

て 手をつないで

日本では、東日本大震災より前に、大きな地しんがおきました。阪神・淡路大震災です。

1 阪神・淡路大震災

1995年（平成7年）1月17日。阪神・淡路地方で大きな地しんがおきました。兵庫県神戸市では、たくさんのたてものがたおれ、その後におきた火事で、多くの人がなくなりました。

げんざいの神戸は、すんでいる人びとのどかで、うつくしいまちへとふっこうしてきています。



しんさい直後の神戸のまちと、げんざいの神戸のまち（同じ場所）

2 て 手をつないで

東日本大震災にあった仙台市の小学生を元気にするため、神戸の人びとがまちにしょうたいしてくれました。神戸市と仙台市の子どもたちは、たがいに「しんさいをけいけんしたまちの子ども」として交流し、ぼうさいの大切さについて学びました。



火事のひがいの大きかった商店がいを歩く、神戸市、仙台市の子どもたち



神戸市の商店がいに立つ「鉄人28号」のぞう

この「鉄人28号」のぞうは、しんさいの後、商店がいのふっこうのシンボルとしてたてられたんだって。



神戸市からおくられたメッセージ

神戸のまちにしょうたいしてもらって、分かったことがあります。それは、「まちの力つよさ」と「人びとのやさしさ」です。わたしは、みんなの力を合わせれば、神戸のように、仙台もきつとふっこうできるとおもいました。
(宮城野区の小学生の作文)

仙台市のふっこうをささえてくれる神戸市。これからも二つのまちは、ともにふっこうを目指していきます。